

か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子

学校だより

第8号



すがわら



令和4年12月
愛川町立菅原小学校
齋漬 中村 慎輔
電話 046-285-2794

二学期の終わりを迎えるにあたって

校長 中村 慎輔

今年も残すところわずかとなりました。季節はすっかり冬になり、朝夕の寒さを感じるようになりました。しかし、菅原小学校の子どもたちはそれに負けじと教室や校庭で活発に活動しています。

寒いと、つい部屋の中で過ごしたくなるのは大人の感覚で、子どもはとにかく戸外が大好きです。天気の良い日はできるだけ戸外でしっかりと体を動かし、運動機能を高め、感染症等に負けない元気な体をつくっていきたいと思います。

11月は、「ペースランニングの取組」として、業間休みに全校児童で校庭を走りました。

1月は、「菅原っ子なわとび旬間」として全校でなわとびに取り組みますが、さっそく業間休みや昼休みになわとびをする子どもの姿が見られるようになりました。

これから、クリスマス、おもちつき、大掃除、年末の買物など、子どもたちにとっては楽しいことがいっぱいです。家族で過ごす時間も多くなることでしょう。子どもたちにできる簡単なことはお手伝いをさせてください。そして「ありがとう、助かったよ」と声をかけてあげてください。子どもたちにとって、家族の役に立てたということはとても大きな喜びであり、自信につながります。

また、何かとせわしなくなるこの時期は、交通事故の多くなる時期でもあります。夕方暗くなるのが早く、自動車からは歩行者や自転車を確認しづらくなっています。交通安全については、学校でも自転車の乗り方や交通ルールを守ることなど、折にふれ指導をしていますが、ご家庭でも改めてお声かけください。

二学期も終わりが近づき、終業式では担任の先生から「あゆみ」が配付されます。「学習のようす」の各教科の欄には、[◎よくできている、○できている、△もうすこし]が示されています。保護者の皆さまは、「あゆみ」についてお子様と話しをするとき、どんな声かけをしていますか。われわれ大人は、△があると、子どもに「○になるようにがんばれ」と声をかけます。苦手なものを何とか克服してもらいたいという気持ちからだと思います。当然のことだと思いますが、一方で、「風呂敷理論（ふろしきりろん）」という考え方もあります。



子どもが好きなこと（好きな教科）をとことん伸ばしていくと、一見関係ないように見える他の力（他の教科）も伸びていきます。風呂敷の一点をつまんで持ち上げると、周りも持ち上がっていくようすです。これを「風呂敷理論」といいます。苦手な教科は大人が声をかけてもなかなか取り組めないかもしれませんが、好きな教科なら、自分から進んで取り組めるかもしれません。好きなもの（教科）がどんどん伸びることで、学びの楽しさを知り、他のもの（教科）もがんばってみようかなとなっていくと思います。こうして、子どもの学びに向かう姿勢が、自律的になっていくことこそが理想的な姿です。子どもの学びはまだ始まったばかりです。いつまでも大人が「勉強しなさい」と言い続けることはできません。時間はかかるかもしれませんが、自分で考えて、自ら学ぶことができるような子になってもらうために、子どもの成長を信じて根気強く見守ってあげることも大切なかもしれません。

今学期は、子どもが「あゆみ」を持って帰ってきましたら、子どもに「今、何の勉強が好き？」と好きなものを聞いて、「好きなもの（教科）をどんどん伸ばしていこうね。」という話をするのもいいかもしれません。

今学期も様々な本校の活動場面で、保護者の皆さまや地域の方々に多くのご協力を頂きました。本当にありがとうございました。三学期も引き続きよろしくお願いいたします。

5年生プログラミング特別授業

12月13日(水) 神奈川工科大学の金井教授にお越し頂き、プログラミングの特別授業を行っていただきました。プログラミング学習をする目的は、大きく2つあります。1つは、「プログラミング的思考(論理的思考力)」を伸ばすことです。

「プログラミング的思考」とは、物事を順序立てて論理的に考える能力のことです。

そもそも、プログラミングを行う際、きちんと順序立てて命令を書かなければ、コンピュータは指示を理解できません。正しく動作させるには、処理する対象を細かく分けたり、手順を指示したりする必要があり、その過程のなかで「プログラミング的思考」を身につくと考えられています。

もう一つは、問題解決能力を身につけることです。

実際にプログラミングをおこなっていると、プログラムが中断してしまったり、思っていたとおりに動かなかったりといったエラーが出て、行き詰まることがよくあります。この時に自分でエラーの原因を探り、突き止めることで、課題に対してアプローチする力を身につけられます。

問題解決能力は、日常生活でも活かせる能力です。

問題解決能力を培っていれば、何らかの問題に直面した時に、あきらめないうで、自分自身で最善の改善策を見つけることができるようになります。この問題解決能力の育成は、今年度本校が校内研究として取り組んでいるSTEAM教育にも通じるものがあります。

受け身の姿勢の学びではなく、自らチャレンジしながら学ぶ姿。時にはうまくいかないことがあっても、くじけず、あきらめずに課題に向かう。そんな主体的な学び手に育ってほしいと思っています。

学校運営協議会について

学校運営協議会事務局 教頭 江崎 厚史

「開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ。これが、昨今の学校運営、コミュニティー・スクールの基本となる考え方です。学校運営協議会を設置している学校が「コミュニティー・スクール」と呼ばれ、学校と地域を結び、全国的にも、各地域で子どもたちを育てていこうとしています。

本校の学校運営協議会は、本校校長を始め、PTA会長、自治会会長など、地域の方々8人のメンバーから成り立っております。年3回の開催で、11月18日(金)に第2回の会議が開かれました。前回の会議では、本校の現状をお伝えするとともに、情報交換を通して、ご意見も伺うことができました。様々な情報を共有し、より会議を充実させていくために、会議の回数を増やすのではなく、事前に協議内容を精選していくことの提案がなされました。

また、校内の環境整備の一つとして花壇づくりのお話があり、11月27日(日)に学校運営協議会の方々に加え、PTA本部役員の方々や、スクラム/ピの皆さまの協力を得てウサギ小屋の手前のスペースを地域の花壇に整備していただきました。(紙面の都合で写真を掲載できませんので、当日の様子は本校ブログ「かかやけブログ」をご覧ください。)

今後の行事予定

12月 15日(木)	個別懇談①
16日(金)	個別懇談②
19日(月)	個別懇談③
20日(火)	PTA 家庭教育学級 個別懇談④
21日(水)	児童朝会(給食委員会)
22日(木)	児童朝会(生活委員会)
23日(金)	終業式



1月 10日(火)	始業式
11日(水)	登校班会議/下校指導
12日(木)	給食開始 席書き会(～16日)
16日(月)	委員会
19日(木)	3年生消防署見学
20日(金)	6年生お別れ遠足(キザニア・国会)
26日(木)	席書き展(～27日)

学校アンケート ご協力ありがとうございました!

学校アンケートありがとうございました。

何度か学校メールにて案内をさせていただきましたが、皆様のご協力のおかげで224名の保護者の方に回答していただくことができました。今後の教育活動に役立てていきます。

また、アンケートの中で、下校時の児童のいたずらについて情報提供をしていただきました。校内でいただいた情報を共有し、確認したところ該当児童が自ら申し出て、指導することができました。

学校だけでは把握できないことは、まだまだあるかもしれませんが、子どもたちのより良い成長のためにも、地域と学校が一体となって見守っていただけるとありがたいです。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。